

はぐくむ光のびる若芽

114

宝米 土屋ゆう子

私の家は、両親と私たち夫婦と子供が2人の6人家族です。両親は農業をしていますが、私たちは2人共勤めさせてもらっています。

子供たちは、農業をしながら殆ど育ててもらった様な状態です。私は土曜日が休みではないので子供たちといっしょに遊んだりする時間が少なくて、かわいそうに思う時があります。でも、子供たちは最初からなのであきらめてしまっているのかもしれない。

私は今、家庭教育学級の学級長を、できないながらやらせて頂いています。何にもわからないもので、その時その時教えて頂きながらどうにか、やっている状態です。今までは、学級生でありながら程ほどの行事に参加できず、まるで人事の様でした。そんな中でも、これまでに「家庭教育と

は」という講話をいろいろな間かせて頂きましたが、その時は「ああ、こうしなきゃいけないんだ」とか「こうしなければ」としつかり頭に入れたはずなのに、子供に接する時には、最初だけですぐもとの自分に戻ってしまっています。

自分なりの子育てを

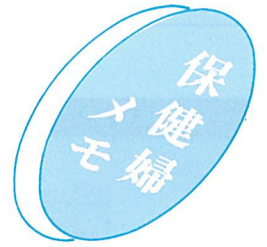


子供のいい所をのぼしてあげたい

何人子供を育てても、この子はよかつたという子育てはできないものかもしれないね。それに思う通り人間造りなんてできなくてあたりまえで、それで良いのではないのでしょうか。よその子供はよく見えるものでつい「家の子は」なん

て思ってしまったんですが、このあいだ、ある先生と話していて、上の子が少しマイペースなもので、まだあい変わらずだという話から「それでも、お茶を入れてくれたりとか、お休みの日にお父さんに玉子焼きを作り、ごはんをよそって食べられる様にしてあげたり、なしの皮をむいてくれたり、そういう事は好きなのよね」と話したら、「ほら、そんないい所があるじゃない。人それぞれだからそれでいいんじゃない。」

いわれて子供のいい所をたくさん探して、それをのぼしてあげられる様にすることが大事なんだと、改めて気づく一瞬でした。長い目で子供をみてあげられる様努力したいと思えます。



5 清拭

家庭介護のポイント

●清拭の大切さ

清拭は、単に皮膚の汚れを落とすだけでなく、入浴と同様に全身状態を観察するためのよい機会です。またマッサージや、手足を動かすことで拘縮を予防することもなります。

●清拭する時の心配り

清拭は、暖かい時間帯を選び、室温だと22〜23度位が適しています。清拭する部分以外は、タオルなどで覆って保温に気をつけるとともに、お年寄りの気持ちにも心をくばりたいものです。

●手順

顔↓両手↓胸部↓腹部↓両足↓背部↓陰部の順序で手ぎわよく進めていきます。

●清拭の方法



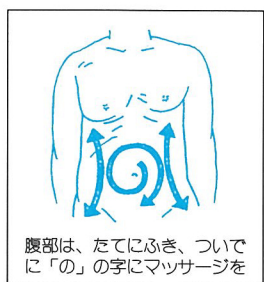
腕は、手首から肩の方に向かってふく



下肢は、足先からつけ根に向かってふく



背中は、左右とも外側から内側に向かって円を描くように。中心部は背骨に沿って腰の方へ向かってふく



腹部は、たてにふき、ついでに「の」の字にマッサージを

顔は、内側から外側へ、手足は、血液の循環をよくするために手足の先からつけ根に向けて、ふいていきます。胸部や腹部は、まずたてにふき、ついで「の」の字を書くようにマッサージをしながら清拭を進めます。背部は、外側から内側に向けて円を描くように、中心部は背骨に沿って腰に向けて何度もふきます。陰部は、からだの他の部分と比べて汚れやすく、放置すると膀胱炎などになりやすいので、何度も清拭を行う必要があります。さらに、清拭だけでなく、できれば、微温湯を用意し、前から肛門に向けて湯を少しずつ流しながら洗うとよいでしょう。この際お湯を入れる容器・便器（洗い流した湯をとる）、タオル等を用意しておきましょう。また、清拭のとき準備するものとして、洗剤用バケツ2つ（1つはすすぎ用）に、少し熱めのお湯（50℃位）を入れておきます。タオルをしぼるのに手があつたときは、ビニール手袋等があると便利です。さらに、湯が冷たくなつたときに用いるさし湯、せっけん、オイル（陰部用は別に）、タオルケットなどを用意しましょう。